

趣旨説明 よりよく生きるということ

総合地球環境学研究所

上廣環境日本学センター・阿部健一



Research Institute for Humanity and Nature (RIHN), Kyoto, Japan

地球環境「問題」

実は「問題解決」が目的ではない

⇒ あらたな社会を創ること

BAU このままの社会だと・・・

⇒ 社会変革

物質的豊かさ、利便性のみを重視してきた価値観

豊かさを問い直す

市場価値(金銭価値)だけでない価値



ウエル・ビーイング Well-Being

最近よく聞くが……

個人や社会が「よい状態」

主観的／客観的

定義があいまい、だからこそ使いやすい

プラスチック・ワード



2024年5月「第六次環境基本計画」

最上位目的

「環境保全とそれを通じた『ウェルビーイング／高い生活の質』が実現できる『循環共生型社会』の構築」

『循環共生型社会』

「環境収容力を守り環境の質を上げることによって成長・発展できる文明」

⇒実現のための6つの重点戦略



りそなアジア・オセアニア財団
第12回環境シンポジウム

(1) 遠くを見通した広いビジョンのもと

⇒ 芸術の力 KLaSiCA

(2) 地域に密着し

⇒ 行政の役割 「自治」

(3) 小さなことをつなげてゆく

⇒ りそなアジア・オセアニア財団環境事業



りそなアジア・オセアニア財団
第12回環境シンポジウム

(1) 遠くを見通した広いビジョンのもと

『アートが生み出す共感とエネルギーの場』

金沢21世紀美術館館長 長谷川祐子氏

(2) 地域に密着し

『カーボンニュートラル実現と歩いていけるまちづくり』

生駒市長 小紫 雅史氏

(3) 小さなことをつなげてゆく

『レッサーパンダに最適な森を求めて～地域住民参加型保全活動の可能性』

大牟田市動物園 富澤 奏子氏

